

埼玉県立加須げんきプラザ

「単元の学習過程を明示した簡易版」

○活動プログラム「よりよい人間関係をつくろう」

○第4学年 特別活動 「よりよい人間関係をつくろう」

○単元の目標

- ・人間関係づくりプログラムを中心とする様々な体験活動（アクティビティ）を通じて、児童が互いに協力しながら問題解決を図り、「よりよい人間関係」を形成することができる。
- ・形成した人間関係を活かし、よりよい学校生活を送ることができる学級・学年集団を形成することができる。

○学習過程と活動の流れ

（2）単元計画（学習過程と活動内容等）

学習過程	活動内容	時数	活動の場
【事前学習】 1 活動のねらいを理解する 2 基本的な活動の実践	1 人間関係づくりプログラムのねらいとそれを達成するためのルールについて理解する。 2 人間関係づくりプログラムの基本的な活動（アクティビティ）について実践を行う。 実践を通じて、人間関係づくりプログラムに慣れ親しみ、より高度な活動（アクティビティ）を実践する体制を築く。		熊谷市立三尻小学校
【体験学習】 3 本日の活動のねらいを明確にする	3 「ビーイング」を行い、各自の活動のねらいを明確にする。	1	熊谷市立三尻小学校

4 体験活動①	4 複数のグループに別れ、グループごとにアクティビティを体験する。	3	
5 体験活動②	5 学年全体で集団的なアクティビティを体験する。	2	
6 活動の振り返り	6 「ビーイング」を行い、活動のはじめに設定したねらいについて、その達成度を確認する。		
【事後学習】 7 学習した内容の共有化	7 体験学習で学んだ内容について、縦割り活動の時間で主体的な役割のもと実施し、活動の成果を異学年にも広める。		熊谷市立三尻小学校

○育成する資質・能力

【知識及び技能】

- ・よりよい人間関係を形成するために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。
- ・他者の考えや意見を肯定的に捉えることで、他者を尊重し、よりよい人間関係を形成する方法を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・よりよい人間関係を形成するために、体験活動における問題に対し、集団内で意見交換を行うことで合意形成を図り、協力して解決することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・体験活動を通じて、問題解決に至る考えや意見について客観的に捉え、他者を尊重することで、よりよい人間関係を形成しようとしている。